

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：農政課 シートNo：106 作成日：2024/2/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅵ産業振興	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	2環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる	依然として国内の食料自給率が低い現状を受け、離農者が増加する中で、社会情勢等に左右されない生産力を有する農業者を醸成しなければなりません。地理的条件を活かした収益性の高い農業を展開することが経営の安定化につながる一つの手法と言えますが、市場取引価格が低い米穀の生産者を中心に設備投資を含む各種交付金制度を活用した支援をしていく必要があります。	規模拡大や経営の複合化を目指す農家に対し、補助事業等への取組や営農指導を関係機関と連携しながら指導を行い、担い手農家数を増やします。 あわせて、麦・大豆・飼料用米等の転作作物の作付を推進し、米価下落の抑制につなげます。
	施策	1農業		
	施策内容	農業経営の強化		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	常総市農業基本計画、経営安定対策等実施要領		
事務事業名	経営所得安定対策事務			

依然として国内の食料自給率が低い現状を受け、離農者が増加する中で、社会情勢等に左右されない生産力を有する農業者を醸成しなければなりません。地理的条件を活かした収益性の高い農業を展開することが経営の安定化につながる一つの手法と言えますが、市場取引価格が低い米穀の生産者を中心に設備投資を含む各種交付金制度を活用した支援をしていく必要があります。

規模拡大や経営の複合化を目指す農家に対し、補助事業等への取組や営農指導を関係機関と連携しながら指導を行い、担い手農家数を増やします。
あわせて、麦・大豆・飼料用米等の転作作物の作付を推進し、米価下落の抑制につなげます。

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	農林水産業費
	項	農業費
	目	農業振興費
	事業	農業支援事業費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
農地利用効率化等支援交付金事業	認定農業者	説明会開催回数1回	説明会開催回数1回	17名（参加者）	15名（参加者）
経営所得安定対策事業	農業者	周知回数15回（説明会含む）	周知回数12回（説明会含む）	交付農家数325件	交付農家数325件
地域計画の策定・運用	農業者・農業委員会・土地改良区等	会議開催回数2回	会議開催回数6回	会議開催回数2回	会議開催回数6回

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
担い手農家数（認定農業者ベース）	246件	245件
生産数量目標に相当する数値	2,549ha	2,662ha

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
担い手農家の耕作面積割合	47%	55%
米の取引価格（茨城県内米価概算金）	12,700円/俵	14,000円/俵

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐
業務の振り返り						
農業者の規模拡大や経営の多角化に伴う相談を受けることが多く、国や県の補助事業を案内していますが、条件が厳しくなかなか活用できるものがない状況です。 経営所得安定対策については、令和3年より作物転換が進み、生産数量目標に相当する数値を達成している状況であるため、引き続き交付金事務を滞りなく遂行していきます。						規模拡大意向や法人化を考えている農業者に対し、経営規模に合った補助事業等を案内するなど、担い手農家の確保に向け支援していきます。 米価下落による所得低下から離農につながらないように、米穀の生産者を中心に支援していきます。